

平成26年度防衛関係予算のポイント(概要)

- 安全保障環境が厳しさを増す中、我が国として初めて策定した国家安全保障戦略の下で、新防衛大綱・新中期防を策定し、我が国の防衛態勢を強化(5年間の防衛力整備の水準：24兆6,700億円(+1.8%))。一方、調達改革等により、効率的に装備品等を整備(予算総枠：23兆9,700億円(+0.8%))。
- 26年度の防衛関係費は、対前年度+2.8%の4兆8,848億円を確保。給与特例減額の終了に伴う人件費増(1,000億円程度)があり、対前年度実質+0.8%。新防衛大綱・新中期防に規定された警戒監視能力の強化、島嶼部に対する攻撃への対応の強化等を図るため、新中期防の第一歩を踏み出すための予算とする。

26中期防

足元の水準 23兆4,000億円

+0.8%

26中期防における予算措置目標

23兆9,700億円

調達改革等による効率化努力

7,000億円

26中期防における防衛力整備水準目標

24兆6,700億円

(+1.8%)

26年度予算

昨年度 4兆7,538億円

2.8%

今年度

4兆8,848億円

給与特例減額の終了に伴う人件費増+1,000億円程度
実質的には+0.8%